

奈良の工藝歳時記

HOME / 奈良の工藝歳時記

奈良の工藝歳時記 なら工藝の都、1300年の歴史と今

PDF版ダウンロード →

STORY 1

なら工藝館で触れる、奈良の工藝歳時記

日本の伝統工芸の原点を知る・学ぶ

平城京に都が置かれた奈良時代。

奈良時代には遣唐使（けんとうし）や外国からの使節（しせつ）によって、遠くはペルシャ・インド・中国をはじめとするアジアの国々から、書物や薬品・服飾などの様々な文物が持ち込まれ、日本文化の発展に大きく貢献をしました。

奈良に届いた技術の数々は、新たな工夫や創造が加わり、さまざまな形に洗練され、日本各地へと伝わっていったのです。伝わった技術はその地の素材と融合しながら独自の文化・文明として開化しました。今を生きる私たちに守り伝えられてきた美しいものである“工芸”的原点はすべて奈良にあります。

「なら工藝館」では、1300年以上の悠久の時とともに培（つちか）われてきた技術と、その進化した姿をお伝えしてまいります。

長い歴史に育てられた奈良工芸の伝統と魅力の一端に「なら工藝館」で触れてください。

なら工藝歳時記

奈良の四季と歴史を彩る工芸

1300年の歴史から生まれた工芸は、今もさまざまな奈良の四季を彩っています。

なら工藝館では「なら工藝歳時記」として奈良の四季と工芸の美を紹介していきます。

春 SPRING

夏 SUMMER

秋 AUTUMN

冬 WINTER



春

春 | 2月～4月

東大寺のお水取りが終わる頃、奈良に春がやってきます。

風格ある『奈良漆（うるし）』の什器（じゅうき）や調度品は、お水取りの厳しい行法（ぎょうほう）にも華を添え、練行衆（れんぎょうしゅう）と呼ばれる心身を清めた僧たちを見守ってきました。

この行法が始まったのは、大仏開眼（だいぶつかいげん）と同じ752年（天平勝宝（てんぴょうしょうほう）四年）

異国情緒（いこくじょうちょ）豊かな伎楽（ぎがく）が奉納されたといわれています。

今ではインテリアとしても評価の高い『奈良古楽面（ならこがくめん）』の源流も伎楽面にあるといえるでしょう。



奈良漆器

奈良時代にシルクロードを経て奈良に伝わった器物には、漆で絵を描いたもの、螺鈿（らでん）・金銀平脱（きんぎんへいだつ）・平文（ひょうもん）など多種多様な技法を自由に駆使した漆芸品（しつげいひん）が多くありました。奈良が日本の漆器発祥の地と呼ばれる所以（ゆえん）です。中世には社寺に所属し、建造物の塗師（ぬし）を勤めるとともに漆器も造る塗師・漆屋座（ぬしやざ）が登場します。現在の奈良漆器は、夜光貝（やこうがい）など、光沢の美しい貝を貼り付けて漆を塗り重ね研ぐ「螺鈿」という技法が特徴です。器や調度品はもちろん、箸などのカトラリーやアクセサリーなど様々なものが漆器の手法で作られています。



山本 哲 | Yamamoto Satoshi

「奈良漆器は、木地に漆を塗る塗立（ぬりたて）で終わらず、油分を含まない漆を重ね、砥粉などで研ぎだす蝶色（ろいろ）塗をするのも特徴なんですよ。一般的な漆器の十倍は手間がかかっています。その分高価ですが、漆器は意外なほど丈夫。もっと気軽に使ってほしいですね」と山本さん。特にアイスクリームや日本酒は格別の味わいになるそうです。

奈良古楽面

古楽面とは、舞楽（ぶがく）・伎楽（ぎがく）に使われてきた面を精巧に模したものです。飛鳥時代に仏教とともに日本に伝わった舞臺・伎臺では、当初からさまざまな楽面（がくめん）



が使われ、正倉院宝物にも奈良時代の楽面があります。古くはすっぽりと頭にかぶって使うものが多く、次第に顔前面だけにつけるものが登場し、能・狂言の面にも影響を与えました。第二次世界大戦後は、これらの面全般が、装飾用に模造されるようになり、工芸品として全国の百貨店などでも扱われるようになりました。現在も社寺などでさかんに舞楽・伎楽が演じられる奈良では、能・狂言に使う木彫の面も含め、実際に使うことができる楽面を制作する作家も活躍しています。



中坊 竜童 | Nakabo Ryudou

「可能な限り、本物に近い面を作りたい。博物館などで本物を見るのはもちろん、細かい点は書物などで確認します」と話す中坊さんは、この道60年。工房には、奈良時代の大仏開眼（だいぶつかいげん）に使われた伎楽面、いまも社守で奉納されることが多い蘭陵王（らんりょうおう）の面などがずらりと並んでいました。能や狂言で実際に使われる面も手掛けているそうです。

夏

夏 | 5月～7月

奈良盆地の夏は蒸し暑い日が続きます。

人々は涼を招くために様々な技術を生み出してきました。

和紙に施されたすかし彫り模様が美しい『奈良団扇（うちわ）』

繊細な造りに職人の技を感じます。

柔らかな風は心地よく、浴衣（ゆかた）姿にも華を添えます。

ならまちを歩けば、風情ある町屋の玄関には至極（しごく）の麻で紡がれた『奈良晒（ざらし）』の暖簾（のれん）や、軒に吊られた風鈴が涼しげに揺れ、なつかしい日本の風景に出会えます。

奈良団扇

奈良団扇は美しく染めた和紙に繊細に施されたすかし彫りが特色です。絵柄には天平（てんぴょう）模様や鹿・藤の花・万葉歌など奈良らしいものが多く取り上げられています。奈良時代、春日大社の神官の手内職として作られた渋団扇（しぶうちわ）が起源とされます。その後、次第に洗練されていき、江戸時代中頃には現在のような形の団扇となったと言われています。見た目が美しいのはもちろんのこと、実用性も高い理由は和紙を張る穂が70本もあるためです。軽く扇ぐだけでよくなり、よい風が起こります。明治頃までは奈良市内に数件の団扇店がありました。



池田 匠志 | Ikeda Tadashi

今では一軒しかない奈良団扇専門店の若き六代目当主の池田さんは、冬場に紙染めと骨作り、春から夏にかけて彫りと仕上げを家族の助けも借りながらこなすそうです。

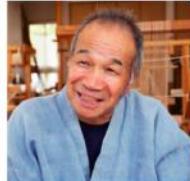
伝統的な色柄の団扇を造るだけでなく、「毎年秋にはオリジナル作品に挑戦します。伝統を守るだけでなく、奈良団扇の新しい魅力を未来へ受け継いでいけたら」と真摯（しんし）な表情が印象的でした。

奈良晒

奈良晒（ならざらし）とは麻織物のことです。大麻糸を約1ヶ月かけて丁寧に織り上げられた



麻布を清流に晒し、真白く仕上げます。僧侶や神官の衣服として古くから使われていました。安土桃山時代に清須美源四郎（きよすみげんしろう）という人が、従来の晒法の改良に成功し、にわかに盛んになったといわれています。製法が改良されて以降、武士の袴（かみしも）や夏の単衣ものとして販路が広がりました。江戸幕府にも納められ、徳川家康は御用品として、製造販売を掌握統制（しょうあくどうせい）する制度を作ったほどでした。現在は、茶道に使う茶巾（ちゃきん）のほか、のれん、ふきんなど日常使いできる製品も人気です。



岡井 孝憲 | Okai Takanori

「奈良晒は撚（よ）りをかけた麻糸を縦糸に、撚りをかけない麻糸を横糸に織り上げます」と、大和機（やまとばた）を動かしながら、岡井さん（奈良県伝統工芸士）が教えてくれました。「この独特の織り方が、奈良晒の光沢としなやかな風合い、優れた吸水撥水性を生むんです」と言います。茶道の茶巾以外の小物や反物などは、水に晒さずに麻本来の生成（きな）り色を生かすことが増えています。



秋 | 8月～10月

秋

秋の正倉院展（しょうそういんてん）は奈良の風物詩。

シルクロードからもたらされた1万件にも及ぶ宝物が、正倉院で1260年以上も守り伝えられてきました。

かつて大仏開眼の際に用いられた筆、写経に使われた墨が、『奈良筆（ならふで）』や『奈良墨（ならすみ）』を生み出す土壤（どじょう）を育んだのでしょう。

正倉院宝物の色使いや文様は、今も奈良で創り出される工芸にインスピレーションを与え続けています。



奈良筆

奈良筆のルーツは、弘法大師空海が唐から伝えた巻筆（まきふで）にあるとされます。大和国今井の酒井名清川（坂名井清川という説もあり）に作らせ、嵯峨天皇と皇太子に献上したと言われています。この清川の子孫が今井で毛筆製作に従事しましたが、次第にその中心は墨の産地で寺院などの需要の多い奈良へ移行し、発達しました。江戸元禄期からは強弱の毛を組み合わせ、糊で固める無心筆（むしんふで）・水筆（みずふで）へと移行してきました。高級筆を中心に製造する奈良は、広島・愛知・仙台・新潟などと並ぶ筆の主産地のひとつです。なお、奈良筆は経済産業大臣認定の伝統的工芸品指定を受けています。



松谷 文夫 | Matsutani Fumio

「奈良筆の工程はすべて手作業です」と筆作り40余年という松谷さん（伝統工芸士）は、誇らしそうな表情で語ります。「奈良筆では、山羊、馬、鹿の毛を合わせることが多いです」と話しながら、役割によって違う長さに切り揃えた毛の束を薄く広げては混ぜ合わせていく松谷さん。この「練り混ぜ」と呼ばれる工程が、筆の見た目だけでなく書き味も左右します。

奈良墨



墨には松脂を燃やして造る「松烟墨（しょうえんぼく）」と、菜種や胡麻（ごま）・桐の油を燃やして造る「油煙墨（ゆえんぼく）」があります。南都油煙墨と呼ばれたいわゆる奈良墨は、遣唐使として唐へ行った空海が、筆とともにその製法を持ち帰り、興福寺二諦坊（にていぼう）で造ったのが始まりとされています。一方の松烟墨の方は、油煙墨より遅い平安時代の終わり頃に紀州や近江で作られるようになりましたが鎌倉時代に途絶えました。安土桃山時代以降、奈良の墨の評判が全国的に高くなっています。製墨所が相次いで誕生しました。現在も奈良墨は、全国シェア90%を誇り、経済産業大臣認定の伝統的工芸品指定を受けています。



松田 治 [左] / 西岡 淳仁 [右] | Matsuda Eiji / Nishioka Junji

奈良墨は、原料の膠（にかわ）が暑さで腐りやすいため、毎年10月～4月に製造します。書はもちろん水墨画にも使われ、昔から「黒に七色あり」と言われてきました。型入れ職人である西岡さんと松田さんは、「奈良墨はその美しさが特徴です」と声を漏れます。煤、膠液、香料を混ぜ、餅のようになった墨玉（すみだま）を、熟練の技で手もみ、足ねりすることで、硯（すずり）で磨った面にも艶（つや）が宿る奈良墨が出来上がります。

冬 | 11月～1月

空気が凜（りん）とはりつめる奈良の冬。

ほのかな赤みを帯びた地色の『赤膚焼（あかはだやき）』には、愛らしい奈良絵が多く描かれ、手に伝わる器の温もりに癒（いや）されます。

奈良の1年を締めくくる春日若宮おん祭（まつり）を彩るのも、奈良の地で培われてきた様々な工芸品の粹です。

とりわけ大宿所祭（おおしょくしょさい）で供えられる盃台（さかずきだい）を飾る『一刀彫（いっとうぱり）』は、面で構成される奈良人形ならではの表情が、見る者の目を引きます。

冬



赤膚焼

良質な陶土（とうど）が産出する西の京丘陵（きゅうりょう）一帯は、古代から土器・火鉢などの制作が盛んに行われる窯業地（ようぎょううち）でした。茶の湯がおこると土風炉（つちぶろ）が作られるようになり、安土桃山時代の天正（てんしょう）・慶長（けいちょう）年間には、大和郡山城主の豊臣秀長が尾張常滑（おわりとこなめ）から陶工を招き、茶陶（ちゃとう）を作らせ、江戸時代中期には、大和郡山城主・柳澤堯山（やなぎさわぎょうざん）が京都より陶工を招き、郡山藩御用窯（ごようがま）として赤膚焼を保護奨励します。これを機に、青木木兎（あおきもくと）、奥田木白（おくだもくはく）といった名工も活躍しました。赤膚焼の伝統的な魅力である素朴な「奈良絵（ならえ）」を大切にする一方で、新しい色彩や形の作品も多く造られています。



大塩 正 | Oshio Tadashi

「鉄分を多く含む赤膚山の土は焼くと赤褐色を帯び、釉薬（ゆうやく）をかけることで温かみのある色合いになります。」と話す大塩正さん。「赤膚焼中興（ちゅうこう）の祖・奥田木白は『諸国焼物模所（しょこくやきものうつしどころ）』の看板を掲げ、多彩な作風を誇りました。この姿勢も赤膚焼の守るべき伝統です。」との言葉通り、工房にはさまざまな表情の器が並んでいました。

※『諸国焼物模所』：日本各地のやきものに学び、それらを模した作品を造る技術を持っているという意の看板。

奈良一刀彫

奈良人形は、平安時代末期から現代まで続く春日若宮おん祭（まつり）で田楽（でんがく）を演じる法師の花笠（はながさ）や島台（しまだい）を飾った彩色の人形に始まると言われています。江戸時代中頃になると、名工・岡野松寿（おかのしょうじゅ）があらわれて名声を高め、幕末から明治初頭にかけて狂言師でもあった森川杜園（もりかわとえん）が活躍し、一刀彫がいっそう注目されるようになりました。大胆で素朴な鑿（のみ）あとと、極彩色の絵付けが特徴です。最小限の鑿しか入れないことで清浄を重んじているという説もあります。能・狂言や舞楽に材をとったものが伝統的に作られてきました。最近は雛人形、干支の置物などが人気を集めています。



荒木 義人 | Araki Yoshindo

「いかにうまく面で構成するかを考え、鑿を当てていきます」と話す荒木さんの躍動感と華やかさのある作品は全国からの注文が絶えません。「小さくても存在感がある一刀彫は今の住宅事情にも合い、干支・雛人形・兜（かぶと）などの『季節もの』は人気があります。作者の個性を大切にしつつ、一刀彫をもっと発信し続けていきたいです。一刀彫こそ木彫りの神髄（しんずい）だと誇りをもっています」と言う言葉からは静かな情熱を感じられました。

未来へのメッセージ

引き継がれてきた奈良の工芸のバトンを、さらに未来へつなぐ若き精鋭作家にインタビューしました。



前田浩幸
Maeda Hiroyuki

取材時、なら工藝館に前田さんの作品「鶴退治（ねえたいじ）」が展示されていました。（現在は展示終了しております）顔は猿で手足は虎、尾は蛇という不気味な鶴が、源頼政（みなもとよりまさ）に今にも襲いかかりそうな緊迫感にあふれています。頼政の足元は足袋（たび）のまま、背に矢筒（やづ）も見えません。作者の前田さんは「平家物語や能にもなっている有名な場面ですが、服装や武器の決まりごとをあえて破って、鶴の神出鬼没（しんしゅつきぼつ）性を表現したいと思いました。中学生ぐらいからものづくりに興味があり、なら工藝館を訪れる一刀彫の道に入って16年。創りたいものは次々と浮かんできます。現在製作中の能人形春日龍神（かすがりゅうじん）では、あえて人形の命である面の一部を髪で隠し、壯厳さを強調してみたいです」と独特な世界観を語る表情は意欲的です。

(写真左上)細かい部分は彫刻刀を使い、仕上げていく
(写真右上)荒彫り。鑿で大まかな形を木から「生み出していく」と前田さんは言う
(写真下)緊張感が伝わってくる前田さんの作品「源頼政鶴退治」

プロフィール

春日有職5代目神箸東林に師事。奈良伝統工芸後継者育成事業第一期生として三年間の研修を修了。第五回奈良伝統工芸展で作品「黒鬼と白鬼の囲碁対決」が人気投票第一位に輝く。2016年奈良市ふるさと納税返礼品の段鑿を制作。



八尾さつき
Yao Satsuki

大学の指導教官時代に研究していた平安時代の硯箱（すずりばこ）を「一度模造してみては」と勧められ、初めて漆を触った。自此、白井ノカミエレムシカナヘア！ シーカニスニガタ 「ニ



「おもしろいな」と思ってみたところ、とても新鮮で、本格的に漆芸をやることに決めました。変わった動機かもしれませんね」と八尾さんは笑います。茶器の棗（なつめ）や食籠（じきろう）のほか、帯留め・ネックレス・ピアスなどのアクセサリーを積極的に作る理由を「気に入ったアクセサリーを使っているうちに、どんなプロセスでどんな人がつくったんだろうと興味を持つてもらえるかもしれないとの思いからです」と未来に繋（つな）げるための工夫も語ってくれました。

(写真左上) 沈金の手法を使ったアクセサリーはファンも多い

(写真左下) 彫刻刀で繊細な模様を彫っていく

(写真右下) 八尾さんの作品「沈金盃 しのぶ」



プロフィール



京都造形芸術大学(現京都芸術大学)芸術学部歴史遺産学科で「硯箱」を研究したことをきっかけに漆芸に興味を持ち、石川県立輪島漆技術研修所へ入所。その後、奈良伝統工芸後継者育成事業第4期生として3年間研修を修了。グループ展、個展にて作品を発表している。

STORY 2

なら工藝の都、1300年の歴史と今

歴史年表と奈良工芸

奈良に関連するできごとを中心とした歴史年表に沿って、奈良の工芸の移り変わりがジャンルごとに一覧できるようにまとめました。

時代と出来事	古墳・飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代
ヤマト政権 古墳時代 ヤマト政権 日本書紀の成立 聖德太子・履中天皇 仏教が伝わる	奈良時代 7世紀 720 735 740 750 760 768	平安時代 794 800 804 810 816 820 830 836 841 845 850 854 858 860 867 871 873 876 880 885 891 896 900 905 910 915 920 924 930 936 941 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 1000 1005 1010 1015 1020 1025 1030 1035 1040 1045 1050 1055 1060 1065 1070 1075 1080 1085 1090 1095 1100 1105 1110 1115 1120 1125 1130 1135 1140 1145 1150 1155 1160 1165 1170 1175 1180 1185 1190 1195 1200 1205 1210 1215 1220 1225 1230 1235 1240 1245 1250 1255 1260 1265 1270 1275 1280 1285 1290 1295 1300 1305 1310 1315 1320 1325 1330 1335 1340 1345 1350 1355 1360 1365 1370 1375 1380 1385 1390 1395 1400 1405 1410 1415 1420 1425 1430 1435 1440 1445 1450 1455 1460 1465 1470 1475 1480 1485 1490 1495 1500 1505 1510 1515 1520 1525 1530 1535 1540 1545 1550 1555 1560 1565 1570 1575 1580 1585 1590 1595 1600 1605 1610 1615 1620 1625 1630 1635 1640 1645 1650 1655 1660 1665 1670 1675 1680 1685 1690 1695 1700 1705 1710 1715 1720 1725 1730 1735 1740 1745 1750 1755 1760 1765 1770 1775 1780 1785 1790 1795 1800 1805 1810 1815 1820 1825 1830 1835 1840 1845 1850 1855 1860 1865 1870 1875 1880 1885 1890 1895 1900 1905 1910 1915 1920 1925 1930 1935 1940 1945 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 2055 2060 2065 2070 2075 2080 2085 2090 2095 2100 2105 2110 2115 2120 2125 2130 2135 2140 2145 2150 2155 2160 2165 2170 2175 2180 2185 2190 2195 2200 2205 2210 2215 2220 2225 2230 2235 2240 2245 2250 2255 2260 2265 2270 2275 2280 2285 2290 2295 2300 2305 2310 2315 2320 2325 2330 2335 2340 2345 2350 2355 2360 2365 2370 2375 2380 2385 2390 2395 2400 2405 2410 2415 2420 2425 2430 2435 2440 2445 2450 2455 2460 2465 2470 2475 2480 2485 2490 2495 2500 2505 2510 2515 2520 2525 2530 2535 2540 2545 2550 2555 2560 2565 2570 2575 2580 2585 2590 2595 2600 2605 2610 2615 2620 2625 2630 2635 2640 2645 2650 2655 2660 2665 2670 2675 2680 2685 2690 2695 2700 2705 2710 2715 2720 2725 2730 2735 2740 2745 2750 2755 2760 2765 2770 2775 2780 2785 2790 2795 2800 2805 2810 2815 2820 2825 2830 2835 2840 2845 2850 2855 2860 2865 2870 2875 2880 2885 2890 2895 2900 2905 2910 2915 2920 2925 2930 2935 2940 2945 2950 2955 2960 2965 2970 2975 2980 2985 2990 2995 3000 3005 3010 3015 3020 3025 3030 3035 3040 3045 3050 3055 3060 3065 3070 3075 3080 3085 3090 3095 3100 3105 3110 3115 3120 3125 3130 3135 3140 3145 3150 3155 3160 3165 3170 3175 3180 3185 3190 3195 3200 3205 3210 3215 3220 3225 3230 3235 3240 3245 3250 3255 3260 3265 3270 3275 3280 3285 3290 3295 3300 3305 3310 3315 3320 3325 3330 3335 3340 3345 3350 3355 3360 3365 3370 3375 3380 3385 3390 3395 3400 3405 3410 3415 3420 3425 3430 3435 3440 3445 3450 3455 3460 3465 3470 3475 3480 3485 3490 3495 3500 3505 3510 3515 3520 3525 3530 3535 3540 3545 3550 3555 3560 3565 3570 3575 3580 3585 3590 3595 3600 3605 3610 3615 3620 3625 3630 3635 3640 3645 3650 3655 3660 3665 3670 3675 3680 3685 3690 3695 3700 3705 3710 3715 3720 3725 3730 3735 3740 3745 3750 3755 3760 3765 3770 3775 3780 3785 3790 3795 3800 3805 3810 3815 3820 3825 3830 3835 3840 3845 3850 3855 3860 3865 3870 3875 3880 3885 3890 3895 3900 3905 3910 3915 3920 3925 3930 3935 3940 3945 3950 3955 3960 3965 3970 3975 3980 3985 3990 3995 4000 4005 4010 4015 4020 4025 4030 4035 4040 4045 4050 4055 4060 4065 4070 4075 4080 4085 4090 4095 4100 4105 4110 4115 4120 4125 4130 4135 4140 4145 4150 4155 4160 4165 4170 4175 4180 4185 4190 4195 4200 4205 4210 4215 4220 4225 4230 4235 4240 4245 4250 4255 4260 4265 4270 4275 4280 4285 4290 4295 4300 4305 4310 4315 4320 4325 4330 4335 4340 4345 4350 4355 4360 4365 4370 4375 4380 4385 4390 4395 4400 4405 4410 4415 4420 4425 4430 4435 4440 4445 4450 4455 4460 4465 4470 4475 4480 4485 4490 4495 4500 4505 4510 4515 4520 4525 4530 4535 4540 4545 4550 4555 4560 4565 4570 4575 4580 4585 4590 4595 4600 4605 4610 4615 4620 4625 4630 4635 4640 4645 4650 4655 4660 4665 4670 4675 4680 4685 4690 4695 4700 4705 4710 4715 4720 4725 4730 4735 4740 4745 4750 4755 4760 4765 4770 4775 4780 4785 4790 4795 4800 4805 4810 4815 4820 4825 4830 4835 4840 4845 4850 4855 4860 4865 4870 4875 4880 4885 4890 4895 4900 4905 4910 4915 4920 4925 4930 4935 4940 4945 4950 4955 4960 4965 4970 4975 4980 4985 4990 4995 5000 5005 5010 5015 5020 5025 5030 5035 5040 5045 5050 5055 5060 5065 5070 5075 5080 5085 5090 5095 5100 5105 5110 5115 5120 5125 5130 5135 5140 5145 5150 5155 5160 5165 5170 5175 5180 5185 5190 5195 5200 5205 5210 5215 5220 5225 5230 5235 5240 5245 5250 5255 5260 5265 5270 5275 5280 5285 5290 5295 5300 5305 5310 5315 5320 5325 5330 5335 5340 5345 5350 5355 5360 5365 5370 5375 5380 5385 5390 5395 5400 5405 5410 5415 5420 5425 5430 5435 5440 5445 5450 5455 5460 5465 5470 5475 5480 5485 5490 5495 5500 5505 5510 5515 5520 5525 5530 5535 5540 5545 5550 5555 5560 5565 5570 5575 5580 5585 5590 5595 5600 5605 5610 5615 5620 5625 5630 5635 5640 5645 5650 5655 5660 5665 5670 5675 5680 5685 5690 5695 5700 5705 5710 5715 5720 5725 5730 5735 5740 5745 5750 5755 5760 5765 5770 5775 5780 5785 5790 5795 5800 5805 5810 5815 5820 5825 5830 5835 5840 5845 5850 5855 5860 5865 5870 5875 5880 5885 5890 5895 5900 5905 5910 5915 5920 5925 5930 5935 5940 5945 5950 5955 5960 5965 5970 5975 5980 5985 5990 5995 6000 6005 6010 6015 6020 6025 6030 6035 6040 6045 6050 6055 6060 6065 6070 6075 6080 6085 6090 6095 6100 6105 6110 6115 6120 6125 6130 6135 6140 6145 6150 6155 6160 6165 6170 6175 6180 6185 6190 6195 6200 6205 6210 6215 6220 6225 6230 6235 6240 6245 6250 6255 6260 6265 6270 6275 6280 6285 6290 6295 6300 6305 6310 6315 6320 6325 6330 6335 6340 6345 6350 6355 6360 6365 6370 6375 6380 6385 6390 6395 6400 6405 6410 6415 6420 6425 6430 6435 6440 6445 6450 6455 6460 6465 6470 6475 6480 6485 6490 6495 6500 6505 6510 6515 6520 6525 6530 6535 6540 6545 6550 6555 6560 6565 6570 6575 6580 6585 6590 6595 6600 6605 6610 6615 6620 6625 6630 6635 6640 6645 6650 6655 6660 6665 6670 6675 6680 6685 6690 6695 6700 6705 6710 6715 6720 6725 6730 6735 6740 6745 6750 6755 6760 6765 6770 6775 6780 6785 6790 6795 6800 6805 6810 6815 6820 6825 6830 6835 6840 6845 6850 6855 6860 6865 6870 6875 6880 6885 6890 6895 6900 6905 6910 6915 6920 6925 6930 6935 6940 6945 6950 6955 6960 6965 6970 6975 6980 6985 6990 6995 7000 7005 7010 7015 7020 7025 7030 7035 7040 7045 7050 7055 7060 7065 7070 7075 7080 7085 7090 7095 7100 7105 7110 7115 7120 7125 7130 7135 7140 7145 7150 7155 7160 7165 7170 7175 7180 7185 7190 7195 7200 7205 7210 7215 7220 7225 7230 7235 7240 7245 7250 7255 7260 7265 7270 7275 7280 7285 7290 7295 7300 7305 7310 7315 7320 7325 7330 7335 7340 7345 7350 7355 7360 7365 7370 7375 7380 7385 7390 7395 7400 7405 7410 7415 7420 7425 7430 7435 7440 7445 7450 7455 7460 7465 7470 7475 7480 7485 7490 7495 7500 7505 7510 7515 7520 7525 7530 7535 7540 7545 7550 7555 7560 7565 7570 7575 7580 7585 7590 7595 7600 7605 7610 7615 7620 7625 7630 7635 7640 7645 7650 7655 7660 7665 7670 7675 7680 7685 7690 7695 7700 7705 7710 7715 7720 7725 7730 7735 7740 7745 7750 7755 7760 7765 7770 7775 7780 7785 7790 7795 7800 7805 7810 7815 7820 7825 7830 7835 7840 7845 7850 7855 7860 7865 7870 7875 7880 7885 7890 7895 7900 7905 7910 7915 7920 7925 7930 7935 7940 7945 7950 7955 7960 7965 7970 7975 7980 7985 7990 7995 8000 8005 8010 8015 8020 8025 8030 8035 8040 8045 8050 8055 8060 8065 8070 8075 8080 8085 8090 8095 8100 8105 8110 8115 8120 8125 8130 8135 8140 8145 8150 8155 8160 8165 8170 8175 8180 8185 8190 8195 8200 8205 8210 8215 8220 8225 8230 8235 8240 8245 8250 8255 8260 8265 8270 8275 8280 8285 8290 8295 8300 8305 8310 8315 8320 8325 8330 8335 8340 8345 8350 8355 8360 8365 8370 8375 8380 8385 8390 8395 8400 8405 8410 8415 8420 8425 8430 8435 8440 8445 8450 8455 8460 8465 8470 8475 8480 8485 8490 8495 8500 8505 8510 8515 8520 8525 8530 8535 8540 8545 8550 8555 8560 8565 8570 8575 8580 8585 8590 8595 8600 8605 8610 8615 8620 8625 8630 8635 8640 8645 8650 8655 8660 8665 8670 8675 8680 8685 8690 8695 8700 8705 8710 8715 8720 8725 8730 8735 8740 8745 8750 8755 8760 8765 8770 8775 8780 8785 8790 8795 8800 8805 8810 8815 8820 8825 8830 8835 8840 8845 8850 8855 8860 8865 8870 8875 8880 8885 8890 8895 8900 8905 8910 8915 8920 8925 8930 8935 8940 8945 8950 8955 8960 8965 8970 8975 8980 8985 8990 8995 9000 9005 9010 9015 9020 9025 9030 9035 9040 9045 9050 9055 9060 9065 9070 9075 9080 9085 9090 9095 9100 9105 9110 9115 9120 9125 9130 9135 9140 9145 9150 9155 9160 9165 9170 9175 9180 9185 9190 9195 9200 9205 9210 9215 9220 9225 9230 9235 9240 9245 9250<br					

奈良時代 シルクロードから伝わった美の主役

奈良時代・聖武天皇（しょうむてんのう）の時代にはシルクロードを経て、遣唐使や外国からの使節らにより我が国に持ち込まれた文物が当時の美の主役となりました。今もそれを具体的に伝えてくれるのが正倉院宝物の数々です。

木画（もくが）・螺鈿（らでん）・染織（せんしょく）などの名品は、現代の奈良工芸の原点ともなっていきました。また、当時の祈りのかたちを行事として今に伝えるのが、東大寺大仏開眼（だいぶつがいげん）の年に始められ、1270年もの長い間一度も途絶えたことのない東大寺二月堂修二会（しゅにえ）（お水取り）です。

正倉院宝物の鮮やかな色彩やエキゾチックなフォルム、またお水取りで仏様に供えられる椿の造花は、今なお繰り返し用いられている奈良工芸の代表的なモチーフとなっています。



正倉院

正倉とは重要な物品を納める倉のことで、平安時代ごろまでは全国の大寺などにいくつもありましたが、いつしか廃れ、現在では奈良東大寺のものだけとなりました。奈良時代・聖武天皇の七七忌の忌日に、光明皇后が遺愛の品を東大寺に奉納したものが、約9000件もの正倉院宝物の始まりとなりました。

● ●



春日大社

奈良時代の神護景雲二年(768年)、御蓋山の麓に本殿が造営されたことに始まる神社です。国家・国民の安泰を守る神として信仰され、平安時代以降も天皇や貴族などが頻繁に参拝に訪れます。1200年以上続く春日祭は、日本三大勅祭（天皇の代理の勅使が派遣される祭）のひとつです。

● ● ●

平安時代 奈良は貴族の信仰の地へ

都が奈良から京へ移ると、奈良は南都（なんと）と呼ばれるようになります。政治の中心ではなく、東大寺や興福寺といった大寺院、藤原氏の氏神である春日大社への信仰は衰えず、定期的に天皇や貴族が参拝のために奈良を訪れるようになったのです。

奈良時代にはすでに行われていたとされる社を定期的に新調することを造替（ぞうたい）と呼びます。他の地域の主要な神社では中世に一度断絶してしまうことが多かったのですが、春日大社では現代にいたるまで途絶えることはありませんでした。社殿を作り直す（国宝になってからは補修）だけでなく、さまざまな調度品も新調される造替は、奈良の漆、やきものなど工芸技術の継承にも大きな役割を果たしてきました。

さまざまな工芸品が祭りを彩る「春日若宮おん祭（まつり）」もまた、平安時代の1136年に閑白藤原忠通（ふじわらただみち）によって始められて以来、870余年にわたって続けられています。



称名寺

わび茶の祖とされる珠光は称名寺で得度し、獨蘆庵（どくろあん）と呼ばれる茶室を建てました。毎年5月15日に行われる珠光忌で、本堂と茶室獨蘆庵、ゆかりの竹などが公開されます。境内東側にある千体地蔵尊は、多聞城の石垣を築くために周辺から集められた石仏で、多聞城が廃城になった後、ここに集められました。

● ● ●

室町～江戸時代 奈良の地で、わび茶が誕生

茶の湯は庭、さらに茶室・器などの工芸品、料理・花などをトータルで演出する「総合芸術」と呼ばれます。

現在の茶道のルーツは、室町時代中期の茶人・珠光（じゅこう）が創始した「わび茶」に行きつきます。

奈良出身の珠光は称名寺（しょうみょうじ）で得度（とくど）しました。彼の教えは、奈良きたまちに住み、茶会記「松屋会記（まつやかいけい）」で知られる松屋歴代（れきだい）・千利休（せんのりきゅう）・戦国武将の信長らに受け入れられ、発展しながら今に至ります。

奈良はわび茶のふるさとであることから、2014年から奈良市内の社寺などを会場に主な茶道流派が趣向を凝らした茶会を開く、珠光茶会（じゅこうぢゃかい）が続けられています。



奈良博覽会圖録

写真は、明治8年4月から60日間開催された第一回奈良博覽会の図録です。明治時代、全国各地で開催された博覽会は、奈良でも15年間連続で行われました。特色は、産業育成だけでなく、正倉院や古社寺に伝わる古い器物を多く展示した点にありました。また、当時の名工たちに模写させることにも力が入れられ、正倉御物の復元模造の一級品の多くが生まれました。

● ●

明治時代～今 奈良工藝史の転機となった奈良博覽会

武士の世が終わり、近代の幕が開いた明治時代。政府は、欧米諸国に追いつけ追い越せと殖産興業（ぞうさんこうぎょう）を進めていくようになります。明治初頭、大きな寺院がある奈良では、神仏分離令による「廢仏毀釈（はいぶつきしゃく）」の嵐に巻き込まれますが、都が京都へ遷った後は社寺を中心町が形成され、奈良に根づいた社寺を重んじる土地柄もあり、少しずつ寺院は力を取り戻していました。そして、社寺とともに在ったといってよい奈良の伝統工芸も嵐を乗り越え、注目を浴びることになります。それが、明治8年から明治23年までの間に15回開催された奈良博覽会という殖産興業をねらった大イベントでした。国の主導で開催されたこの博覽会のメイン会場は東大寺大仏殿の回廊でした。正倉院御物や各寺院のお宝が披露されただけでなく、当時の森川杜園（もりかわとえん）（一刀彫）、吉田包春（よしだほうしゅん）（漆芸）などの名工の手がけた工芸がスポットを浴び、今に至る奈良工芸の道をさらに拓く転機となったのです。

Information

- ご利用案内
- 常設展示室
- ギャラリー阿字万字
- お問合わせ

About

- 奈良の工藝歳時記
- 作品紹介
- 工芸教室
- 奈良工芸後継者育成

News

- お知らせ
- イベント
- 年間行事

Others

- リンク
- サイトポリシー
- 個人情報保護方針
- サイトマップ



〒630-8346
奈良県奈良市阿字万字町1番地の1
TEL:0742-27-0033／FAX:0742-27-9922